

報道関係各位

平成17年6月25日
(財)2005年日本国際博覧会協会
地球市民村事務局
国際環境NGO FoE Japan

「日本におけるドイツ年 2005/2006」参加プロジェクト

子どもたちが身近にある自然を観察し、自由に表現した作品を発表！

「『自然観察日記』発表会 & 表彰式」のご案内

6月26日(日)14:00～15:30 / 大地の広場

博覧会協会企画事業遊びと参加ゾーン「地球市民村」では、6月26日(日)の14:00～15:30に大地の広場にて、6月の参加団体「国際環境NGO FoE Japan」主催、「FoEドイツ青年部BUND jugend」の協力で、「自然観察日記コンテスト」(募集期間：2004年8月1日～2005年4月8日)受賞者による作品の発表および表彰式「『自然観察日記』発表会 & 表彰式」を下記の通り開催します。

当日は、最優秀賞もしくは優秀賞を受賞した日本の子どもたち24名が、自分の身近にある自然を観察して自由な形で表現した作品の発表を行います。

つきましては、是非ご取材賜りたくご案内申し上げます。

「自然観察日記コンテスト」は、FoEドイツ青年部BUNDjugendがドイツの子どもたちを対象に毎年開催しているコンテストで、自分の身近にある自然を自由な視点で観察し、作文、絵、工作など、自由な形で表現した作品を募集するものです。今回、「日本におけるドイツ年 2005/2006」の参加プロジェクトとして日本でも開催され、日独の子どもたち計2,500名の作品が寄せられました。

なお、地球市民村内のFoE Japan出展パビリオン「次世代に贈る地球館」では、今回の受賞作品をはじめ、ドイツの子どもたちの作品も併せて展示しています。(～6月30日)

記

日時：2005年6月26日(日)14:00～15:30

会場：愛・地球博 長久手会場 遊びと参加ゾーン「地球市民村」大地の広場

内容：2004年8月1日～2005年4月8日に作品募集を行った「自然観察日記コンテスト」の最優秀賞、優秀賞を受賞した子どもたち24名を万博会場に招き、受賞者自身による作品発表および表彰式を行う。

受賞招待者24名：個人最優秀1名、個人優秀3名、グループ最優秀1グループ(20名)

以上

< 参考資料 >

国際環境 NGO FoE Japan 出展パビリオン「次世代に贈る地球館」概要

自動車、飛行機、石油タンクなど、化石燃料を象徴するモチーフを組み合わせで作った「化石燃料恐竜くん」をシンボルに、地球温暖化や資源枯渇の危機に直面した今、化石燃料に依存した社会からの脱却を呼びかけます。他に、日本とドイツの子どもたちが自分で選んだ自然界の対象物を観察して自由に表現した「自然観察日記」の作品展示や、1週間に自分の家庭で出た容器包装ごみを身にまとった「容器包装マン」が容器包装を買わされている現状に疑問を投げかけるなど、これらを通して、自然や環境に責任を持った「行動」を働きかけるプログラムを展開します。

英語での案内概要

Information about FOE event on 26th of June

Award ceremony and exhibition for Japans best young nature researchers

26th of June in 2005 at 2 p.m.: Come and join the event, where Japans best researchers of nature present their works and get awards for their effort.

FOE Japan (Friends of the Earth Japan) from Global Village and their German participant BUNDjugend (Young Friends of the Earth Germany) will present this happening.

Background:

Children all over Japan observed nature and documented their researches in original books – their nature diaries. They painted, collected plants, made photos and wrote about their trips into nature. The best nature diaries can be seen in an exhibition at the FOE Japan Pavilion in Global Village. There are also some nature diaries of German kids, who observed nature in their country.

Children will be sensitized for nature and their environment.

当コンテスト募集告知案内（添付パンフレット）

< 参考資料 2 >

BUNDJugend について (印刷済みリリースには添付しておりません。)

Young Friends of the Earth Germany 環境保護・自然保全

Friends of the Earth Germany、独語名 BUND für Umwelt und Naturschutz Deutschland (BUND) は、1975 年に様々なローカルグループを統合し設立されました。私達は自然保護活動を基本理念とし、今日では 390,000 人もスタッフとサポーターを持つ、ドイツで最も大きな環境保護団体へと成長しました。スタッフはそれぞれの地域で活動し、その活動グループ数は 2,200 にも及びます。自然環境維持のために実践的な取り組みをし、また問題解決のために様々な政策案を提言しています。

Friends of the Earth 青年部、独語名 BUNDjugend は 1984 年に設立されました。これは 25 歳以下の青年のみで組織され、独自のプロジェクトやキャンペーンを行っています。現在では、スタッフ及びサポーターのべ 50,000 人以上にまでのぼり、青年同士での環境教育、政治関与、様々な環境問題のトピックを取り入れたパンフレットの発行、そして青年会議の運営を行っています。我々は、緑豊かな将来を築くために、一人でも多くの青年を環境保護に対して目を開かせることを活動目的としています。

BUNDjugendにおける 2005 年の主な活動は、12 歳以下の子供を対象としたコンテスト、「こども地球環境デー」「自然観察日記」、また、青少年サッカーチームにおける地球環境キャンペーン「ドン・カート」です。それに加え、今年は BUND と共に「save the native Butterflies (野生蝶々保護)」キャンペーンも行っています。また、ネット上でも BUNDjugend は活動の幅を広げています。Econautix (www.econautix.de) は全てが青年によってのみ運営されており、環境政策の情報をウェブ上で提供しています。ここには毎日 25,000 件ものアクセスがあり、ドイツでは最も大きな青年ウェブサイトとなっています。

さらに、10 代から 20 代前半の若者には、再生可能エネルギーキャンペーンが用意されています。今年 4 月に始動したばかりのこのキャンペーンは、2006 年 4 月に、チェルノブイリ原発事故から 20 年が経過したことを記念に、国際青年会議を開催する予定です。また、この年代の青年にはもう一つ国際的プロジェクトが提供されています。グローバルイゼーションと環境をテーマにしたプロジェクト「Econauten」で、WTO 及び多国籍企業に関するワークショップに参加することができます。

これらの他にも、非遺伝子組み替え食品に関するワークショップや、騒音に対するキャンペーン、及び生物多様性に関する活動も行っています。

以上